



羊ヶ丘通りに面しており
アクセスも良好

変形性膝関節症やリウマチなどを対象に、変形の著しい症例を含め、幅広く手術をおこなっている。

手術は経験のみに頼るのではなく、民間企業などと共同で開発した独自のデジタルバランスシステムとナビゲーションを使用して実施。人工関節が正確に収まっていることと、人工関節を支える靱帯のバランスが適切であることを経験と機器でダブルチェックしな

人工膝関節置換術で豊富な実績。
術後の合併症対策も万全



鈴木 孝治 副院長

すずき・こうじ / 1983年北海道大学医学部卒業。同大整形外科教室入局。92年米国Hospital for Special Surgery留学を経て2000年北海道整形外科記念病院診療部長就任。15年同院副院長就任。日本整形外科学会認定整形外科専門医。日本人工関節学会、日本関節病学会評議員。日本リウマチの外科学会評議員。日本協スポーツドクター。

変形性
膝関節症

北海道整形外科記念病院

札幌市豊平区平岸7条13丁目5-22
☎011・812-7001 <http://www.hokkaido-seikei-kinen.jp/>

がら進めていく。症例によっては、最新のセメントレス人工関節を用いて耐久性を強化し、人工関節のゆるみ対策をおこなっている。

手術はもちろん合併症対策にも特に注意を払う。手術部位の化膿を予防するために、術前に原因となりえる細菌が鼻腔にないかを検査。厄介な菌が認められた場合は、消失を図ってから手術を実施している。

術後は肺梗塞などの予防の観点から血栓ができてないかをCTやエコーで精密検査をおこなう。また、輸血なしで手術をおこなう対策も整え万全を期している。